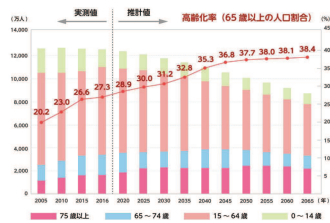


要旨

現在日本は、現役世代2人で1人の高齢者を支える時代になっています。そして2035年に向けて85歳以上の世代が急速に増え、介護の需要も高まります。しかし成長産業にも関わらず、未来を担う若者世代の多くは介護に関心がありません。更に総人口も減少しているため2036年には33%、2065年には38%と総人口の三分の一が高齢者になると予想されています。このことから高齢者の増加を防ぐのは厳しいので、その高齢者のためにできることについて考えました。熊本市、山鹿市の取り組みを調べたところ、山鹿市は高齢者福祉センター、熊本市は地域包括支援センターなどといった取り組みがされており、高齢者にとって住みやすいまちにするために色々な工夫がされていました。でもそれだけでいいのでしょうか？高齢者の方が苦になっていることは日常生活の中にありました。

研究背景

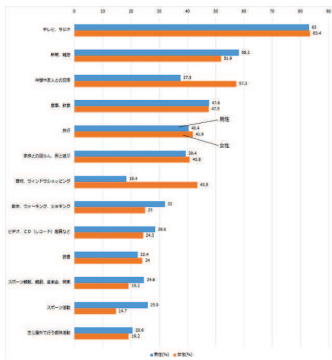
これまでの高齢化率そしてこれからの高齢化率をあらわしたグラフ



が下のようになっています。

高齢化社会の現状より

高齢者は毎日テレビやラジオ、新聞、読書などをして生活しています。



高齢者の普段の日常より

高齢者は生活する中でたくさんの悩みがあります。



主に下のようなことです。↓
(高齢者の困っていること)

- ・ゴミ出し
- ・階段の上り下り、立ち座り
- ・料理
- ・食事の悩み
- ・本や新聞、テレビが見つらい、疲れる
- ・人とのコミュニケーションが少ない

研究方法

インターネット調査
インタビュー調査

結果・考察

介護の必要な高齢者は色々な困っていることがたくさんあり、それを解決するために色々な取り組みがされています。特に高齢者がやっている職業は皆さんも知っているように農業や事務作業だと思えます。それに農業は後継ぎ問題があるため収入を得るために高齢者がやるしか無いんです。そこでインタビュー調査を行いました。2つのことについて身近な高齢者に、日常生活で困っていることはなにか？もう一つは若い人たちに高齢者の方は何をしてもらいたいのか？の質問に対して1つ目の答えが座っているところから立つのが前に重心がいて倒れそうになるから危ないやちょっとした段差でも倒れそうになるから困るなどがありました。2つ目の質問に対してはできるなら農業をやっているからその手伝いをしてほしいかなという声もあれば、高齢者に気を使わないでほしい、もう十分色々してもらったから自分の夢を叶えてほしいという声も挙げられました。高齢者の方がこのようなことを思っていると初めて知った人もいないかなと思います。このインタビュー調査から高齢者のためにできることは、日常生活における苦をなくすことだと考えます。それではどうやったら苦をなくすことができるのか。まずは高齢者の目線になって、どこが危ないのか、これをこうしたらいいかな、などのアイデアを出すところから始まると思います。たとえば歩いて買い物に行く高齢者を結構見かけます。そのような高齢者は歩道橋を頻繁に使うと思うんです。でも歩道橋の階段は段差が大きく上り下りがきつそうな高齢者の方を見かけ、もう少し段差を低くしたほうがいいかな、などといったアイデアを思ふことがまずはじめの段階かなと思います。そしてそこから行動に移していくことで高齢者の方の苦はかなり減少するんじゃないかなと思います。

今後の展望

高齢者のためにのできることを見出したところでやらないと意味がないので、これから少しずつでもいいのでやっていきたいかなと思います。これからの時代若者が中心となっていく中でも高齢者の数が増えていくのは防ぐことのできないことなので高齢者にとっての過ごしやすいまちづくり、そして施設を増やして行くことが今後大事になっていくかなと思いました。そして高齢者の日常の苦をなくしていくことで安心して健康に暮らせる生活ができると思うのでまずは身近な高齢者の方のために自分で考え行動していくことが今後大切になってくるかなと思います。

引用文献・参考文献

<https://jp.gdfreak.com/public/detail/jp010050000001043208/2>

↳山鹿市の人口

<https://kaigo-garden.jp/kaigo-garden/work/problems/>

↳高齢者が困っていること

<https://www.tyojyu.or.jp/net/>

↳高齢者の普段の日常

<https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/>

↳山鹿市ホームページ

https://spaceshipearth.jp/super_aging_society/

↳超高齢社会とは？日本の現状や問題点・対策

https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=1758&class_set_id=1&class_id=49

↳熊本市ホームページ

https://greenz.jp/2012/09/04/greenztoy_aging_kobe/

↳「自分もいつか高齢者になることを、若い世代がもっと意識するには？」